様式１０

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和２年　４月２８日

都道府県知事　殿

病院名　　社会福祉法人恩賜財団済生会済生会
富山県済生会高岡病院

開設者　　社会福祉法人恩賜財団済生会支部
富山県済生会支部長　飯田　博行　　印

医師法第１６条の２第１項に規定する臨床研修に関する省令（平成１４年厚生労働省令第１５８号）第１２条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第９条に基づき、１．研修プログラムの変更、２．研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけてください。）

（１）.基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に〇をつけてください。）

・項目番号１から２５までについては、年次報告において記入してください。
・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号２６から３６までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：０３０９０４　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

記入日：西暦　２０２０年 ４月１５日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	０３０９０４	臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称　社会福祉法人恩賜財団済生会 富山県済生会高岡病院研修病院群 番号　０３０９０４６

作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾓﾘｶﾜ　ﾀﾓﾂ 氏名（姓） 森川	（名） 保	役職　事務部　経営戦略室　課長 （内線　２１０７） （直通電話（０７６６）２１―０５７０） e-mail:resident@takaoka-saiseikai.jp （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）

１．病院の名称 （基幹型、協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ｼｬｶｲﾌｸｼﾎｳｼﾞﾝｵﾝｼｻﾞｲﾀﾞﾝｻｲｾｲｶｲ　ﾄﾔﾏｹﾝｻｲｾｲｶｲﾀｶｵｶﾋﾞｮｳｲﾝ 社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院
２．病院の所在地及び二次医療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒 9 3 3-8 5 2 5　（富山県） 高岡市二塚３８７－１ 電話：（０７６６）２１―０５７０　ＦＡＸ：（０７６６）２３―９０２５ 二次医療圏 の名称：高岡医療圏
３．病院の開設者の氏名（法人の名称） （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ ｼｬｶｲﾌｸｼﾎｳｼﾞﾝｵﾝｼｻﾞｲﾀﾞﾝｻｲｾｲｶｲｼﾌﾞ ﾄﾔﾏｹﾝｻｲｾｲｶｲｼﾌﾞﾁｮｳ ｲｲﾀﾞ ﾋﾛﾕｷ 社会福祉法人恩賜財団済生会支部　富山県済生会支部長　飯田　博行
４．病院の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地） （基幹型・協力型記入）	〒 9 3 1-8 5 3 3　（富山県） 富山市楠木３３－１富山県済生会富山病院内 電話：（０７６）４３１―１１１１　ＦＡＸ：（０７６）４３７―１１２２
５．病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾉﾀﾞ　ﾔﾂｷﾞ 姓　野田　名　八嗣
６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 （基幹型記入）	＊　別紙１に記入 研修管理委員会のすべての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。
７．病院群の構成等 （基幹型記入）	＊　別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。
８．病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	http://www.takaoka-saiseikai.jp/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：０３０９０４　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

		※	
９．医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：　42 名、非常勤（常勤換算）：5.4 名 計（常勤換算）：　47.4 名、医療法による医師の標準員数：24.0 名 ＊　研修医の氏名等について様式３に記入
1	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 2018 年 2 月 1 日、告示番号：第 29 号
	医療計画上の位置付け		１．初期救急医療機関　(２．)第二次救急医療機関　３．第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		(１．)有　（120.6）ｍ^2　０．無
	救急医療の実績		前年度の件数：3,993 件（うち診療時間外：2,381 件） １日平均件数：10.9 件（うち診療時間外：6.5 件） 救急車取扱件数：1,077 件（うち診療時間外：722 件）
	診療時間外の勤務体制		医師：　4 名、看護師及び准看護師：　4 名
	指導を行う者の氏名等		＊　別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（(１．)有　０．無）　外科系（(１．)有　０．無）　小児科（(１．)有　０．無） その他（　　）
１１．医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1.一般：251 床、2.精神：　　床、3.感染症：　　床 4.結核：　　床、5.療養：　　床
１２．診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊　別紙２に記入
１３．病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1.一般：15.3 日、2.精神：　.　日、3.感染症：　.　日 4.結核：　.　日、5.療養：　.　日
１４．前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数：　144 件、異常分娩件数：　43 件
１５．臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：　2　回、今年度見込：　3　回　※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等		＊　別紙４に記入
	剖検数		前年度実績：　1　件、今年度見込：　2　件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室　(１．)有 ０．無　（　　）大学、（　　）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
１６．研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		１．有（単身用：　　戸、世帯用：　　戸） (０．)無（家賃月額で計算した住居手当を支給 上限 45,000 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		(１．)有（　１　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
１７．図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（76.5）ｍ^2
	医学図書数		国内図書：1,800 冊、国外図書：　100 冊
	医学雑誌数		国内雑誌：　33 種類、国外雑誌：　7 種類
	図書室の利用可能時間		7：00　～　21：00　　24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（(１．)有　０．無）、教育用コンテンツ（(１．)有　０．無）、 その他（今日の臨床サポート　）
			利用可能時間（　0：00　～　24：00　）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（(１．)有　０．無）、 その他（学術教育用ビデオ等　）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－３－

病院施設番号：０３０９０４　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

１８．病歴管理体制 （基幹型・協力型記入）	病歴管理の責任者の氏名及び役職		ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾊｾｶﾞﾜ　ﾀｶﾋﾛ 氏名（姓）長谷川　（名）孝広 役職　医事課長
	診療に関する諸記録の管理方法		(1.) 中央管理　２．各科管理 その他（具体的に：　）
	診療録の保存期間		（　10　）年間保存
	診療録の保存方法		１．文書　(2.) 電子媒体 その他（具体的に：　）
１９．医療安全管理体制 （基幹型・協力型記入）	安全管理者の配置状況		(1.) 有（　１名）　０．無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。
	安全管理部門の設置状況		職員：専任（　2）名、兼任（　11　）名 主な活動内容：安全管理委員会で用いる資料・議事録の作成・保存、事故等に関する診療記録が正確かつ十分になされていることの確認・指導、患者や家族への説明など事故発生時の対応状況の確認や必要な指導等。
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等： ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾌﾀﾂﾔ　ﾂﾙﾐ 氏名（姓）二谷　（名）鶴美 役職　医療安全管理者 対応時間（　8：30　～　17：30　）24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：　(1.) 有　０．無
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		(1.) 有　０．無 指針の主な内容：病院における医療安全の基本的な考え方、安全管理のための委員会その他の病院の組織に関する基本的事項、従事者に対する研修に関しての基本方針等。
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年（12）回 活動の主な内容：各部署のヒヤリ・ハット報告状況の把握・分析、マニュアルの改訂、５Ｓ活動、研修会の開催、医療相談、セーフティマネージャーへの支援、苦情・事故対応等。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年（ 5）回 研修の主な内容：苦情対応のポイント、医療安全研修認定コース、BLS 研修、医療事故調査制度、医療安全報告会、参加型医療安全研修等
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備：　(1.) 有　０．無 その他の改善のための方策の主な内容：再発防止に関する病院全体への情報共有（委員会議事録、医療安全管理ニュース発行、医療安全報告会の開催等）、再発防止策の遵守の確認（医療安全パトロール、病棟ラウンドの実施等）、他病院との医療安全相互チェックの実施。
２０．前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			修了：　１　名 中断：　０　名
２１．現に受け入れている研修医の数 （基幹型・協力型記入）			

	前々年度	前年度	当該年度
１　年	1（基幹型）	1（基幹型）	4（基幹型）
２　年	1（基幹型）	1（基幹型）	1（基幹型）

２２．受入可能定員 （基幹型・協力型記入）	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出		許可病床数（　251）床÷１０＝（　25.1）名
	患者数から算出		年間入院患者数（4,591）人 4,591÷１００＝（45.9）名
２３．当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙５も提出すること。			○　派遣実績　→　募集定員加算 0 名　→　0 名 ※　募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。（記入要領 25 を参照） ○地域医療対策協議会等の意向の把握（　有　・　無　） ※　該当する方を○で囲むこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：　０３０９０４　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

項目 25 までについては,報告時に必ず記入してください。	※	
２４.精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1.精神保健福祉士：　0 名（常勤：　名、非常勤：　名） 2.作業療法士：　12 名（常勤：　12 名、非常勤：　名） 3.臨床心理技術者：　0 名（常勤：　名、非常勤：　名） 9.その他の精神科技術職員： 0 名（常勤：　名、非常勤：　名） ＊精神科研修は研修協力病院で実施
２５．第三者評価の受審状況 （基幹型記入）		(1.)有　（評価実施機関名：日本医療機能評価機構　(2019 年 10 月 4 日)） ０．無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
２６．研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：富山県済生会高岡病院初期臨床研修ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ プログラム番号：030904601
２７．研修医の募集定員 （基幹型記入）		１年次：　４名、２年次：　４名

２８.研修医の募集及び採用の方法 （基幹型記入）		
	研修プログラムに関する問い合わせ先	ﾌﾘｶﾞﾅ　ｽｽﾞｷ　ﾀｶﾕｷ 氏名（姓）鈴木　（名）崇之 所属　内科　役職　部長 電話：(0766) 21―0570　ＦＡＸ：(0766) 23―9025 e-mail：t.suzuki@takaoka-saiseikai.jp URL：http://www.takaoka-saiseikai.jp
	資料請求先	住所 〒 9 3 3-8 5 2 5　（富山県） 高岡市二塚 387－1 担当部門 担当者氏名 ﾌﾘｶﾞﾅ ﾓﾘｶﾜ　ﾀﾓﾂ 姓　森川　名　保 電話：(0766) 21―0570　ＦＡＸ：(0766) 23―9025 e-mail：resident@takaoka-saiseikai.jp URL：http://www.takaoka-saiseikai.jp
	募集方法	(1.) 公募 ２．その他（具体的に：　）
	応募必要書類 （複数選択可）	(1.) 履歴書、(2.) 卒業(見込み)証明書、(3.) 成績証明書、 (4.) 健康診断書、５．その他(具体的に：　)
	選考方法 （複数選択可）	(1.) 面接 ２．筆記試験 その他(具体的に：適性検査　)
	募集及び選考の時期	募集時期：5 月　1 日頃から 選考時期：6 月　1 日頃から
	マッチング利用の有無	(1.) 有　０．無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：　０３０９０４　　臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

２９．研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）		概要：＊　別紙３に記入 （作成年月日：西暦 2019 年 6 月 24 日）
３０．プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊　プログラム責任者の履歴を様式２に記入 ＊　副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式２に記入		（プログラム責任者） ﾌﾘｶﾞﾅ　ｽｽﾞｷ　ﾀｶﾕｷ 氏名（姓）鈴木　氏名（名）崇之 所属　内科　役職　部長 （副プログラム責任者） １．有（　名）　(0.) 無
３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） すべての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		＊　別紙４に記入
３２．インターネットを用いた評価システム		(1.) 有（・EPOC・その他（　））　０．無
３３．研修開始時期 （基幹型記入）		西暦　2020 年　4 月　1 日
３４．研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）	１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 (2.) 病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別	(1.) 常勤　２．非常勤
	研修手当	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月(430,000 円) 賞与／年（支給しない） 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（450,000 円） 賞与／年（支給しない） 時間外手当：(1.) 有　０．無 休日手当　：(1.) 有　０．無
	勤務時間	基本的な勤務時間（8：30　～　17：30）24 時間表記 休憩時間（12:30　～　13:30） 時間外勤務の有無（(1.) 有　０．無
	休暇	有給休暇（１年次：　15 日、２年次：　20 日） 夏季休暇（(1.) 有　０．無） 年末年始（(1.) 有　０．無） その他休暇（具体的に：リフレッシュ休暇として年 7 日(夏季休暇含む)）
	当直	回数（約　3 回程／月）
	研修医の宿舎（再掲）	１．有（単身用：　戸、世帯用：　戸） (0.) 無（家賃月額で計算した住居手当を支給 上限 45,000 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室（再掲）	(1.) 有（　１　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険	公的医療保険（政府管掌） 公的年金保険（厚生年金） 労働者災害補償保険法の適用（(1.) 有　０．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有　(0.) 無） 雇用保険（(1.) 有　０．無）
	健康管理	健康診断（年　１回） その他（具体的に　予防接種等　）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（(1.) する　０．しない） 個人加入（１．強制　(0.) 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：(1.) 可　０．否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：(1.) 有　０．無
３５．研修医手帳（基幹型記入）		(1.) 有（EPOC を利用）　０．無
３６．連携状況（基幹型記入）		＊　様式６に記入

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

１　研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけること。

２　報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「１．基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院」の番号に〇をつけること。

３　特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の４月１日現在で作成すること。

４　既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。

５　各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。

６　（基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。

７　（１．有　０．無）のように選択形式の項目は、いずれかに〇をつけること。

８　項目番号１から２５までについては、年次報告において記入すること。

９　研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号２６から３５までについても記入すること。

10　※欄は、記入しないこと。

11　「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とすること。

12　「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13　「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14　「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

（１）「医療法第２１条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成１０年６月２６日付け健政発第７７７号・医薬発第５７４号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

（２）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。

（３）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※　換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の１週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の１週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

（４）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

（５）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第１９条第１項第１号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の１日平均とすること。）。

※　算出式

$$\left(\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52\right) \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第４３条の２に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

（６）当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式３に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15　「救急医療の提供の実績」欄について

（１）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和３９年厚生省令第１８６号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。

（２）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に〇をつけるものであること。

（３）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「１．有」に〇をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「０．無」に〇をつけること。

（４）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「１日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（３６５又は３６６）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

（５）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

（６）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙４に記入すること。

（７）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に〇をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16　「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17　「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後１２時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※　算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2\text{（新入院患者数＋退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18　「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19　「臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況」欄について

（１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したＣＰＣの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

こと。

（２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。

（３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（　　）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（　　）病院」に当該病院名を記入すること。

20　「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について

（１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律○○円、最低○○円から最高○○円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。

（２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。

21　「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について

（１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

（２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

22　「病歴管理体制」欄について

（１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。

23　「医療安全管理体制」欄について

（１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。

（２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。

（３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。

24　「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷１０）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷１００）の双方とも記入すること。

25　「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が２０人以上の場合を１とし、５人増える毎に１を加え、８０人以上の場合を１３」とする。

26　「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。

27　「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

28　「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

29　「研修医の募集及び採用の方法」欄について

（１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

（５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に○をすること。

30　「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に○をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に○をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（　　）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（　　）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに〇をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに〇をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに〇をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに〇をつけること。

6．研修管理委員会（令和元年度　開催回数2回）

構成員の氏名等　病院施設番号:030904　　臨床研修病院の名称:社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　ノダ　ヤツギ 姓　野田　姓　八嗣	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	院長	研修管理委員長 病院管理者
フリガナ　スズキ　タカユキ 姓　鈴木　名　崇之	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	内科部長	研修管理副委員長 プログラム責任者
フリガナ　オトワ　カンイチ 姓　音羽　名　勘一	富山県立中央病院	内科部長	研修実施責任者
フリガナ　ナカツジ　ユウジ 姓　中辻　名　裕司	国立大学法人富山大学附属病院	卒後臨床研修センター長	研修実施責任者
フリガナ　サダナガ　ノリアキ 姓　定永　名　倫明	社会福祉法人恩賜財団済生会　福岡県済生会福岡総合病院	副院長	研修実施責任者
フリガナ　タニノ　リョウイチロウ 姓　谷野　名　亮一郎	医療法人社団和敬会　谷野呉山病院	理事長	研修実施責任者
フリガナ　タカクワ　タケシ 姓　高桑　名　健	公立南砺中央病院	内科部長	研修実施責任者
フリガナ　ムラカミ　ヒデヒロ 姓　村上　名　英広	社会福祉法人恩賜財団済生会　愛媛県済生会松山病院	副院長	研修実施責任者
フリガナ　タナカ　コウダイ 姓　田仲　名　耕大	医療法人社団あずさ会　駅南あずさ病院	副院長	研修実施責任者
フリガナ　モリタ　マスオ 姓　守田　名　万寿夫	富山県高岡厚生センター	所長	研修実施責任者

※　1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No.　）」欄にページ数を記入すること。

6．研修管理委員会（令和元年度　開催回数2回）

構成員の氏名等　病院施設番号:030904　　臨床研修病院の名称:社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　ヨシザキ　トモカズ 姓　吉崎　名　智一	国立大学法人　金沢大学附属病院	研修医・専門総合教育センター　医師臨床研修部門長	研修実施責任者
フリガナ　アダチ　トモヒデ 姓　足立　名　智英	社会福祉法人恩賜財団済生会　東京都済生会中央病院	臨床研修室長	研修実施責任者
フリガナ　ﾐﾔｻﾞﾜ　カツヒト 姓　宮澤　名　克人	学校法人　金沢医科大学病院	臨床研修センター部長	研修実施責任者
フリガナ　ナルセ　タカノリ 姓　成瀬　名　隆倫	当該臨床研修病院及び臨床研修協力施設以外に所属する医師	なるせクリニック　院長	外部有識者・医師
フリガナ　タカタ　ノボル 姓　高田　名　昇	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	事務部長	事務部門の責任者
フリガナ　マツイ　ｶｽﾞﾋﾛ 姓　松井　名　一裕	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	副院長・臨床研修部長	研修管理委員
フリガナ　テラサキ　テイイチ 姓　寺崎　名　禎一	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	副院長	研修管理委員
フリガナ　タカノ　アツコ 姓　高野　名　敦子	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	医療局長・内科部長	研修管理委員
フリガナ　ヨシダ　トオル 姓　吉田　名　徹	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	診療部長・外科部長	研修管理委員

※　1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No.　）」欄にページ数を記入すること。

6．研修管理委員会（令和元年度　開催回数2回）

構成員の氏名等　病院施設番号:030904　　臨床研修病院の名称:社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　ナンブ　コウシ 姓　南部　名　浩史	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	診療部長・整形外科部長 手術部長	研修管理委員
フリガナ　タカバヤシ　ダイスケ 姓　高林　名　大輔	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	内科部長	研修管理委員
フリガナ　ホリ　リョウタ 姓　堀　名　亮太	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	外科部長	研修管理委員
フリガナ　ヨシモト　ヒデオ 姓　吉本　名　英生	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	産婦人科部長	研修管理委員
フリガナ　トヨモト　タカシ 姓　豊本　名　貴嗣	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	皮膚科部長	研修管理委員
フリガナ　イシダ　タケユキ 姓　石田　名　武之	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	泌尿器科部長	研修管理委員
フリガナ　ドウヤ　ミノル 姓　銅谷　名　実	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	麻酔科部長	研修管理委員
フリガナ　ヤマモト　ジュンコ 姓　山元　名　純子	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	小児科部長	研修管理委員
フリガナ　ムラタ　ノリヤス 姓　村田　名　憲保	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	初期臨床研修医 を代表する者	研修管理委員
フリガナ　シブタニ　ミホコ 姓　渋谷　名　美保子	社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院	看護部長	研修管理委員

※　1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No.　）」欄にページ数を記入すること。

１２．診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：富山県済生会高岡病院

病院施設番号　　：０３０９０４

区　　分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	精神科	その他の研修を行う診療科										合計
								整形外科	脳神経外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	放射線科	リウマチ科	リハビリテーション科	病理診断科	
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	2,259	(3,993)	338	0	148	473 (187)	0	561	99	293	114	34	112	0	0	160	0	4,591
年間新外来患者数	2,547		574	252	800	603	98	1,170	364	563	703	728	506	216	186	62	0	9,372
１日平均外来患者数（） 内は年間外来診療日数	154.2 (241)	(79)	22.7 (241)	15.9 (48)	29.9 (241)	32.1 (241)	0.5 (201)	64.2 (241)	15.4 (241)	25.6 (241)	23.0 (241)	28.1 (241)	25.1 (241)	1.7 (241)	24.5 (241)	2.1 (241)	0 (241)	
平均在院日数	16.5	—	16.7	0	2.2	5.9	0	23.7	47.3	1.6	4.8	12.9	5.6	0	0	61.3	0	
常勤医師数 （うち臨床研修指導医数）	１１ （９）	１ （１）	３ （３）	２ （２）	２ （１）	２ （１）	１ （１）	４ （２）	１ （１）	２ （０）	１ （１）	１ （１）	１ （１）	１ （１）	２ （１）	１ （１）	１ （１）	３７ （２８）

※　「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、１１．の救急医療の実績の前年度の件数及び１５．の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※　基幹型臨床研修病院指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

１２．診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和　２年度分）

臨床研修病院の名称：富山県済生会高岡病院

病院施設番号　　：０３０９０４

基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
富山県済生会高岡病院	内科　＜必修＞	4	4	4	2	2	2	2	2	2				
富山県済生会高岡病院	救急部門　＜必修＞				2	2	2	2	2	2				
富山県済生会高岡病院	外科　＜必修＞										1	1	1	1
富山県済生会高岡病院	小児科＜必修＞										1	1	1	1
富山県済生会高岡病院	産婦人科　＜必修＞										1	1	1	1
駅南あずさ病院　または 谷野呉山病院	精神科　＜必修＞										1	1	1	1
１年次計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
公立南砺中央病院	地域医療　＜必修＞	1	1				1	1						
富山県済生会高岡病院	当院または次の協力病院・施設で選択科目研修実施 富山県立中央病院 済生会福岡総合病院 済生会松山病院 済生会中央病院 富山県高岡厚生センター 富山大学附属病院 金沢大学附属病院	3	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4
２年次計	選択科目合計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

※　申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※　「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※　担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入４すること。

１２．診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和　３年度分）

臨床研修病院の名称：富山県済生会高岡病院

病院施設番号　　：０３０９０４

基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
富山県済生会高岡病院	内科　＜必修＞	4	4	4	2	2	2	2	2	2				
富山県済生会高岡病院	救急部門　＜必修＞				2	2	2	2	2	2				
富山県済生会高岡病院	外科　＜必修＞										1	1	1	1
富山県済生会高岡病院	小児科＜必修＞										1	1	1	1
富山県済生会高岡病院	産婦人科　＜必修＞										1	1	1	1
駅南あずさ病院　または 谷野呉山病院	精神科　＜必修＞										1	1	1	1
１年次計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
公立南砺中央病院	地域医療　＜必修＞	1	1	1	1									
富山県済生会高岡病院	当院または次の協力 病院・施設で選択科目 研修実施 富山県立中央病院 済生会福岡総合病院 済生会松山病院 済生会中央病院 富山県高岡厚生センター 富山大学附属病院 金沢大学附属病院 金沢医科大学病院	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
２年次計	選択科目合計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

※　申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※　「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。※　担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入４すること。

１２．診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和　４年度分）

臨床研修病院の名称：富山県済生会高岡病院

病院施設番号　　：０３０９０４

基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
富山県済生会高岡病院	内科　＜必修＞	4	4	4	2	2	2	2	2	2				
富山県済生会高岡病院	救急部門　＜必修＞				2	2	2	2	2	2				
富山県済生会高岡病院	外科　＜必修＞										1	1	1	1
富山県済生会高岡病院	小児科＜必修＞										1	1	1	1
富山県済生会高岡病院	産婦人科　＜必修＞										1	1	1	1
駅南あずさ病院　または 谷野呉山病院	精神科　＜必修＞										1	1	1	1
１年次計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
公立南砺中央病院	地域医療　＜必修＞	1	1	1	1									
富山県済生会高岡病院	当院または次の協力 病院・施設で選択科目 研修実施 富山県立中央病院 済生会福岡総合病院 済生会松山病院 済生会中央病院 富山県高岡厚生センター 富山大学附属病院 金沢大学附属病院 金沢医科大学病院	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
２年次計	選択科目合計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

※　申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※　「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。※　担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入４すること。

２９．研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：０３０９０４６０１

病院施設番号：　０３０９０４　　臨床研修病院の名称：富山県済生会高岡病院

臨床研修病院群番号：０３０９０４６　　臨床研修病院群名：富山県済生会高岡病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1．研修プログラムの名称	富山県済生会高岡病院初期臨床研修プログラム
2．研修プログラムの特色	当院は地域に密着した病院として、高岡医療圏における急性期の医療を行っています。 日常頻繁に遭遇する病気から救急医療で遭遇する多くの症例が経験できるため、基本的で実践的な臨床能力の取得が可能です。 また、地域包括ケア病棟や回復期リハビリ病棟を開床し、地域完結型の医療を提供しており、急性期以外の診察スキルも習得できます。 当院の研修プログラムは、1 年次に必修分野として内科 24 週、救急医療 12 週及び外科・産婦人科・精神科研修を各 4 週行います。 2 年次では必修分野である地域医療や小児科研修を各 4 週行うとともに、研修科が自由に選択できます。福岡県済生会福岡総合病院での総合診療と３次救急研修、愛媛県済生会松山病院での内科研修（医療用巡回船による瀬戸内海離島診療を含む）、東京都済生会中央病院での救急部門を主とした内科各科の研修、及び富山県立中央病院での救急研修等、研修協力病院での多様な科目が選択可能です。 また、富山大学附属病院、金沢大学附属病院、金沢医科大学病院では希望する診療科も研修できます。 ピッツバーグ大学での短期海外派遣研修も取り入れており、当院で研修しながら、リサーチマインドを養成し、皆さんの　医師としてのキャリアの幅を大きく広げることが可能になります。 当院では個々の目標に沿った研修医育成のため、それぞれに適した柔軟な対応が可能です。研修内容も指導医との話し合いの中で個々人が満足し、意欲が湧く方法を模索していきます。 済生会グループの他施設での研修も可能であることから、人脈形成や専門分野の検討にも適した研修環境があります。
3．臨床研修の目標の概要	厚生労働省による初期臨床研修の到達目標達成を基本としながら、当院では、次の事項を目標としています。 １．地域中核病院として、他病院や診療所や介護関連施設と連携を密にし、相互信頼に基づいた地域完結型医療を実践することで、地域の保健・医療・福祉の推進に参加すること。 ２．チーム医療の一員としての役割を理解し、患者さんと職員がともに満足する安全で質の高い医療を体得すること。 ３．医療安全（院内感染・安全管理）への配慮を学ぶこと。 ４．全国の済生会病院群の研修医との交流を深め、自身の基本的な知識・技術の向上に努めること。

４．研修期間		（　２　　）年　（原則として、「２年」と記入してください。）
備考		研修後そのまま専門研修に入り３年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。

５．臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）

＊　同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。

＊　研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。

＊　選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
（記入例）　ｘｘ科		1234567	○○　病院	○週	週
必修科目・分野	内科	030904	富山県済生会高岡病院	24 週	4 週
	救急部門	030904	富山県済生会高岡病院	12 週	
	地域医療	031574	公立南砺中央病院 （２年次で必修）	4 週	一般外来 0.5 週 在宅診療 0.5 週
	外科	030904	富山県済生会高岡病院	4 週	0.5 週
	小児科	030904	富山県済生会高岡病院	4 週	0.5 週
	産婦人科	030904	富山県済生会高岡病院	4 週	
	精神科	031560 050041	谷野呉山病院 駅南あずさ病院	4 週	
	一般外来	030904	富山県済生会高岡病院	週	
選択科目	整形外科/脳神経外科/眼科/耳鼻咽喉科/皮膚科/泌尿器科/麻酔科　他	030904	富山県済生会高岡病院	48 週まで	週
	救急部門・内科	030175	東京都済生会中央病院	40 週まで	
	救急部門	030318	富山県立中央病院		
	救急部門	030692	福岡県済生会福岡総合病院		
	総合診療・救急	030692	福岡県済生会福岡総合病院		
	内科（離島診療含む）	032269	愛媛県済生会松山病院		
	保健・医療行政	032974	富山県高岡厚生センター		
	内科系･外科系全般	030318	富山大学附属病院		
		030327	金沢医科大学病院		
		030328	金沢大学附属病院		
					週

備考：

１　1年次に必修科目として「内科24週、救急医療12週、外科・産婦人科及び精神科を各4週」の研修を行います。

２　2年次には必修科目である「地域医療4週」及び「小児科4週」の研修を行うとともに、当院または協力病院・施設での研修科が自由に選択できます。

選択可能科目について　　*＜＞内は実習病院と実習可能期間を記載。

1）内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・脳神経外科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科・放射線科・リウマチ科・リハビリテーション科・病理診断科
＜富山県済生会高岡病院　48週まで＞
または、

2）救急部門＜富山県立中央病院　4週＞

3）救急部門及び内科（総合診療）＜済生会福岡総合病院　12週まで＞

4）内科（離島診療を含む）＜済生会松山病院　12週まで＞

5）救急部門を主とした希望診療科＜東京都済生会中央病院　24週まで＞

6）保健・医療行政＜高岡厚生センター　4週＞

7）内科系・外科系の希望診療科
＜富山大学附属病院または金沢大学附属病院または金沢医科大学病院　40週まで＞

8）ピッツバーグ大学の短期海外派遣研修（1週間程度）

*但し、選択科目の臨床研修協力病院・施設での研修期間は併せて40週を最長とします。

３　救急部門研修として、まとまった研修期間とは別に当直を月2～3回行います。

４　選択しない科目の到達目標については、具体的なスケジュール策定時に、研修医と相談のうえ、他の必須科目で到達・経験できるよう配慮したスケジューリングを行います。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： ０３０９０４	臨床研修病院の名称: 富山県済生会高岡病院
	臨床研修病院群番号： ０３０９０４６	臨床研修病院群名: 富山県済生会高岡病院臨床研修病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号　０３０９０４６０１

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				11～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
富山県済生会高岡病院（030904）	内科	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																
富山県済生会高岡病院（030904）	救急													2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																
富山県済生会高岡病院（030904）	外科																																					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
富山県済生会高岡病院（030904）	産婦人科																																					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
谷野呉山病院（031560）	精神科																																					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
駅南あずさ病院（050041）	精神科																																																				
富山県済生会高岡病院（030904）	選択科目																																					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： ０３０９０４	臨床研修病院の名称： 富山県済生会高岡病院
	臨床研修病院群番号： ０３０９０４６	臨床研修病院群名： 富山県済生会高岡病院臨床研修病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号　０３０９０４６０１

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
公立南砺中央病院（031574）　必修	地域医療	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1									
富山県済生会高岡病院（031574）　必修	小児科	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1									
富山県済生会高岡病院（030904）	選択科目													
東京都済生会中央病院（030175）	救急・内科													
富山県立中央病院（030318）	救急													
富山大学附属病院（030319）	希望診療科	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4
金沢医科大学病院（030327）	希望診療科													
金沢大学附属病院（030328）	希望診療科													
福岡県済生会福岡総合病院（030692）	総合診療・救急													
愛媛県済生会松山病院（032269）	内科													
富山県高岡厚生センター（032974）	保健・医療行政													

選択科目

臨床研修協力病院・施設での研修期間は併せて40週を最長とする。

31.　臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　病院施設番号：030904　臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	野田　八嗣	富山県済生会高岡病院	院長	43年	○	日本肝臓学会指導医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 等 プログラム責任者講習会 （臨床研修協議会）	030904601	3、4
内科	高野　敦子	富山県済生会高岡病院	医療局長 内科部長	28年	○	日本内科学会指導医 日本糖尿病学会研修指導医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
内科	中舘　照雄	富山県済生会高岡病院	内科部長	22年	○	日本循環器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
内科	高林　大輔	富山県済生会高岡病院	内科部長	21年	○	日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
内科	鈴木　崇之	富山県済生会高岡病院	内科部長	20年	○	日本循環器学会専門医 日本内科学会認定医等 等 臨床研修指導医養成講習会 （全国済生会） プログラム責任者講習会 （臨床研修協議会）	030904601	1・4
内科	坂本　有	富山県済生会高岡病院	内科部長	19年	○	日本循環器学会専門医 日本内科学会認定医等 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
内科	山口　由明	富山県済生会高岡病院	内科部長	15年	×	日本内科学会認定医　等	030904601	「上級医」

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号：030904 臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会 富山県済生会高岡病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	滝 知彦	富山県済生会高岡病院	内科部長	13年	○	日本腎臓学会専門医 日本内科学会認定医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
内科	竹越 快	富山県済生会高岡病院	内科医長	13年	○	日本肝臓学会専門医 日本内科学会認定医 等 臨床研修指導医養成講習会 （石川県地域医療支援センター）	030904601	4
内科	西川 智貴	富山県済生会高岡病院	内科医長	11年	○	日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （石川県地域医療支援センター）	030904601	4
内科	小林 香織	富山県済生会高岡病院	内科医員	6年	×	日本内科学会認定医	030904601	「上級医」
リウマチ科 内科	奥村 麻衣子	富山県済生会高岡病院	リウマチ科医長 内科医長	10年	○	日本内科学会認定医 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
リウマチ科 内科	四十万谷 朱里	富山県済生会高岡病院	リウマチ科医員 内科医員	3年	×	日本内科学会所属	030904601	「上級医」
外科	吉田 徹	富山県済生会高岡病院	診療部長 外科部長	26年	○	日本消化器外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号: 030904 臨床研修病院の名称: 社会福祉法人恩賜財団済生会 富山県済生会高岡病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	堀 亮太	富山県済生会高岡病院	外科部長	21年	○	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医 がん治療認定医 外科周術期感染管理暫定教育医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
外科	大澤 宗士	富山県済生会高岡病院	外科部長	17年	○	日本外科学会外科専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
小児科	山元 純子	富山県済生会高岡病院	小児科部長	27年	○	日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （石川県地域医療支援センター） 等	030904601	4
小児科	笹原 彰子	富山県済生会高岡病院	小児科医師	39年	×	日本小児科学会専門医 等	030904601	「上級医」
整形外科	南部 浩史	富山県済生会高岡病院	整形外科部長	25年	○	日本整形外科学会専門医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医 等 臨床研修指導医養成講習会 （全国済生会）	030904601	4
整形外科	久門 弘	富山県済生会高岡病院	整形外科部長	21年	○	日本整形外科学会専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （石川県地域医療支援センター）	030904601	4
整形外科	羽土 優	富山県済生会高岡病院	整形外科医長	12年	×	日本整形外科学会専門医 等	030904601	「上級医」

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号: 030904 臨床研修病院の名称: 社会福祉法人恩賜財団済生会 富山県済生会高岡病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
整形外科	沼田 仁彬	富山県済生会高岡病院	整形外科医長	11年	×	日本整形外科学会専門医 等	030904601	「上級医」
産婦人科	吉本 英生	富山県済生会高岡病院	産婦人科部長	24年	○	日本産科婦人科学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 ALSO－Japan認定ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
産婦人科	石島 有華	富山県済生会高岡病院	産婦人科医員	4年	×	日本産婦人科学会 日本産婦人科内視鏡学会 日本生殖医学会 所属	030904601	「上級医」
脳神経外科	西方 学	富山県済生会高岡病院	脳神経外科部長	35年	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （全国済生会）	030904601	4
耳鼻咽喉科	成瀬 陽	富山県済生会高岡病院	耳鼻咽喉科部長	16年	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
眼科	淵澤 千春	富山県済生会高岡病院	眼科部長	29年	×	日本眼科学会眼科専門医 PDT認定医 等	030904601	「上級医」
眼科	濵田 瑞綺	富山県済生会高岡病院	眼科医員	4年	×	日本眼科学会所属	030904601	「上級医」
泌尿器科	石田 武之	富山県済生会高岡病院	泌尿器科部長	34年	○	日本泌尿器科学会指導医 等 臨床研修指導医養成講習会 （全国済生会）	030904601	4

31.　臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　病院施設番号：030904　臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会　富山県済生会高岡病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
皮膚科	豊本　貴嗣	富山県済生会高岡病院	皮膚科部長	31年	○	日本皮膚科学会専門医　等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
麻酔科	銅谷　実	富山県済生会高岡病院	麻酔科部長	28年	○	日本麻酔科学会専門医　等 臨床研修指導医養成講習会 （全国自治体病院協議会）	030904601	4
麻酔科	荒尾　正亨	富山県済生会高岡病院	麻酔科医長	10年	○	日本麻酔科学会専門医 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
放射線科	川部　秀人	富山県済生会高岡病院	放射線科	22年	○	放射線診断専門医　等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
リハビリテーション科/内科	寺崎　禎一	富山県済生会高岡病院	副院長	34年	○	日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （富山大学附属病院）	030904601	4
リハビリテーション科	小竹　源紀	富山県済生会高岡病院	リハビリテーション科部長	15年	○	日本リハビリテーション医学会専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （全国済生会）	030904601	4
リエゾン精神科	藤井　勉	富山県済生会高岡病院	参与 リエゾン精神科部長	42年	○	精神保健指定医 日本精神神経学会精神科専門医 等 臨床研修指導医養成講習会 （全国自治体病院協議会）	030904601	4
病理診断科（CPC）	松井　一裕	富山県済生会高岡病院	副院長 臨床研修部長	40年	○	日本病理学会病理専門医研修指導医 日本外科学会認定医　等 臨床研修指導医養成講習会 （全国済生会）	030904601	4

以上